

## 2月定例教育委員会 会議録

- 1 開催日 平成25年2月14日(木)
- 2 開催場所 教育委員室
- 3 出席した委員 神吉委員長、吉田委員、桃田委員、石堂教育長
- 4 欠席した委員 森委員
- 5 出席した職員 田渕教育指導部長、  
佐藤教育総務部次長、窪田教育総務部参事  
諏訪教育指導部次長、松尾教育指導部参事、  
小林教育総務課長、西田学務課長、  
奥野社会教育・スポーツ振興課長、  
森山青少年育成課調整担当課長、  
富原教育研究所長、  
岡本文化財調査研究センター所長、  
柿本少年自然の家所長、藤井中央図書館長、  
中塚教育総務課副課長
- 6 傍聴者 なし
- 7 議事の要旨
  - 開 会 午後2時00分
  - 会議録署名委員指名のこと  
神吉委員長、桃田委員に決定
  - 1月定例教育委員会会議録報告承認のこと  
(事務局より会議録朗読報告)  
承認
  - 会議公開の可否決定のこと  
全ての議事を公開することに決定

(専決報告)

1 加古川市社会教育推進員の解職及び委嘱について

(教育指導部次長より 説明)

承認

2 加古川市少年補導委員の委嘱について

(教育指導部参事より 説明)

承認

(協議事項)

1 平成 24 年度 3 月補正予算にかかる意見について

(教育総務部次長より 説明)

原案可決

委員 : 学校園の耐震化について、補正予算に前倒し計上をする  
が、工事は平成 25 年度に実施するということだが、これに  
より耐震化計画の進捗は早まるのか。

事務局 : 工事の実施は当初の計画どおりであるため、進捗状況に  
変りはない。しかしながら、耐震補強を含めた学校園の大  
規模改修工事については、国の交付金が確保できるかどう  
かが事業実施に大きく影響する。

この度、国の予備費や補正予算の活用が決定されたこと  
から、本市としても事業の実施を確実なものとするため、  
平成 25 年度実施予定の事業について前倒し計上している。

また、補正予算で計上し平成 25 年度に繰り越すことで、  
当初予算で計上するよりも、工事の早期着工が可能となる  
メリットもある。

委員 : 昨年度も国の動向を踏まえながら、積極的に事業を前倒  
ししており、耐震化の完了年度が平成 27 年度から平成 26  
年度に早まっている。このことは市民向けにも積極的に P  
R してもよいのではないか。

事務局 : 平成 26 年度耐震化完了については、市長の施政方針や議  
会への答弁などで発信しているところであるが、市民向け  
へも機会を見て発信していきたい。

## 2 平成 25 年度当初予算にかかる意見について

(教育総務部次長より 説明)

原案可決

委員：市長の施政方針に基づき予算編成がなされている。平成 25 年度の重点は 3 つ。①市民の安全・安心の確保、②次代へつなぐ子育て・人づくり、③環境に優しい魅力あふれるまちづくり。

教育委員会予算においては、①安全・安心の確保として通学路の交通指導員の増員、②子育て・人づくりとして、「いのちと心サポート事業」の新設などが盛り込まれている。

建設費の 3 月補正への前倒し等も含めて増額となる見込みである。

委員：人件費について市長部局から教育委員会へ移管された金額が非常に大きいため、全体の増減が分かりにくいように思う。今後、人件費を切り離して、純粹に教育活動に使える予算がどれくらい変動しているのかという分析を検討してほしい。

事務局として平成 25 年度当初予算額に不安はないか。

事務局：全体としてはよく考えてもらえたと思っている。

市長と教育委員の懇談において出した要望についても、よく考慮してもらい充実している。

## 3 「教育アクションプラン 2013」の策定について

(教育指導部参事より 説明)

原案可決

委員：内容に関する修正ではなく、委員の意見として聞いてほしい。

1 点目は、文化財の活用について学校と連携し、積極的に進めてほしい。平成 26 年には大河ドラマで黒田官兵衛が放映されることが決まったが、黒田官兵衛と関係のある史跡を活用した取り組みができないか。

2 点目は、校歌と市歌の充実を進めてほしい。郷土と学校への愛着を深めるために校歌や市歌に触れる機会を増やすことができないか。

このことについて、二つの提案をしたい。

一つ目は市歌のCD等が学校に配布されているかを確認し、配布されているなら、授業で活用できないか検討してほしい。

二つ目は、校歌を音源として学校に持って置いてほしい。校歌は式典のときに生演奏、生歌、というのがふさわしいと思うが、様々なイベントや行事の際にも校歌が流れるような活用ができないかと考えている。

以上のことを、今後検討してほしい。

委員： 社会科の教材「私たちの郷土加古川」を積極的に活用するなどして、地域への愛着を育ててほしい。その中に市歌や校歌、黒田官兵衛も入ってくるのではないかな。安来節などは、その学校を卒業した人は皆知っている。地域に根ざしたものを探してほしい。

委員： ふるさと教育については実践してほしい。

いじめや心の教育について、メンタルサポーターが増員されるとのことだが、数だけでなく質も求めてほしい。

教員の授業研修については、大学の専門性と小中学校の現場感覚を大切にしてほしい。加古川市の学校現場にも優秀な先生がいると思う。現場の先生の情報各校へ発信してほしい。

また、電子黒板等の教材も積極的に活用してほしい。

いじめについては、子どもはもちろんのことだが、教職員間でのいじめや仲違いなど、大人のストレスにも注意してほしい。

委員： 委員から様々な意見が出たが、アクションプランの項目に入れるかどうかではなく、教育委員会としても地域への視点を深めてほしい。

○ 教育委員諸報告

〔神吉委員長より〕

(1) 全国教育委員会連合会第2回副会長会議への出席について

2月1日（金）に開催され出席した。文科省より、いじめ・体罰問題への対応及び小中連携、小中一貫教育の今後の進め方について説明があった。

委員：小中一貫教育について、今後文科省より方針が示されるということか。

委員：方針を示す予定があるようだ。教育再生会議にて、現在の小学校6年、中学校3年、高校3年の12年の形から、例えば5・4・4の13年など複数のケースをイメージしているようだ。

委員：既に小中一貫教育に取り組んでいる事例では年数の区切りは様々な形があった。加古川市はまだ小中一貫校はないため、文科省から方針が示された場合は、うまく対応してほしい。

〔教育長より〕

(1) 第3回兵庫県都市教育長協議会への出席について

2月7日（木）宍粟市で開催され出席した。高等学校の学区変更について意見交換があった。加古川市においては、学区変更により子どもの選択肢が広がるため前向きに考えているところだが、近隣の2市2町との連携に加え、西脇市や明石市との連携について検討していきたい。

○ 教育総務部長報告

(1) インフルエンザ疾患等による学級閉鎖の状況について

今冬のインフルエンザ疾患等による学級閉鎖は、2月14日現在で延べ48学級。学年閉鎖は延べ4学年である。

(2) 市内中学生にかかる事案について

2月5日（火）に市内中学校で男子生徒3名が教師に暴力を振るったとして逮捕される事案が発生した。

以上、2件について報告

○ 教育指導部長報告

- (1) 平成 24 年度加古川市教育研究所研究員研究発表会の開催について  
2月19日(火)に加古川総合文化センター及び教育研究所にて、「『生きる力』をはぐくむ確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成」をテーマに19名の教諭が指導主事の助言を受けながら研究してきた成果を発表する。
- (2) 新通学区域に係る公立高等学校入学者選抜制度の改善について  
兵庫県教育委員会が改善点を示した。
- (3) 平成 25 年度高等学校等入学者選抜に係る日程について  
県内私立高校については、2月9日(土)・10日(日)、工業高等専門学校については、推薦選抜が1月25日(金)、学力選抜が2月24日(日)に実施される。  
公立高校については、推薦入試は2月14日(木)、一般の学力検査は3月14日(木)に行われる。
- (4) 第 25 回加古川カップ綱引大会の開催について  
2月24日(日)に加古川市立総合体育館において、加古川市体育協会の主催、加古川市教育委員会の共催で、チャンピオン部門から初心者対象部門までの8部門、小学生から大人までが参加して開催される。
- (5) ラジオ体操・みんなの体操講習会の開催について  
2月17日(日)に加古川市立総合体育館において、市民の健康・体力づくりに寄与するため、NHKテレビの講師を招いて講習会を開催する。

以上、5件について報告

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

2月28日(木)午後4時～ 開催することに決定

○ 閉 会          午後3時50分